ふくしま浜通り地域等の市町村による
ショートプレゼンテーション

川内村

村長　遠藤 雄幸

田ノ入工業団地

リセラ

大橋機産
建設工事状況

農（みのり）
建設工事状況

川内村進出の特典

働く人の特典

内容	詳細
住　居	家を建てると最大３００万円
出　産	第１子１０万円　第２子２０万円　第３子以降３０万円
給食費	小学校・中学校の給食費無料
通学助成	村外の高校へ通学する場合のアパート、バス、電車など月３万円助成

村外から進出に優しい川内村

○住環境整備

住宅完成イメージ

○教育環境整備

小中一貫義務教育学校
完成イメージ

○新たな産業の創出（ブドウ栽培、ワイナリー建設）

圃場様子

○村内に光ファイバーが敷設済み

光ファイバー敷設状況

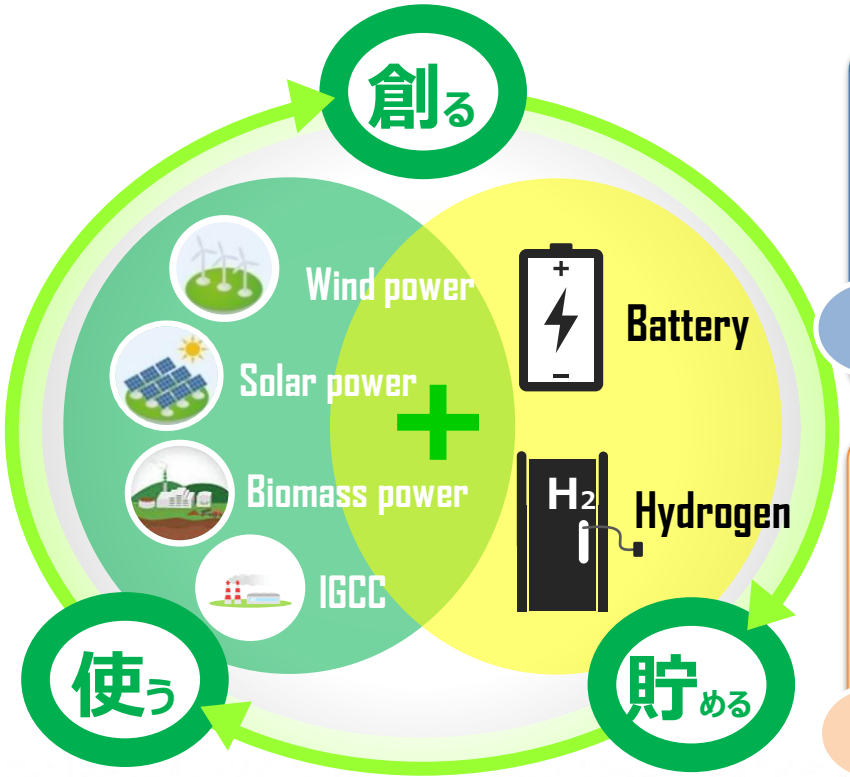
いわき市

市長　清水 敏男

次世代エネルギー先進都市「いわき」を目指して

基本的な考え方

エネルギーとともに発展してきたいわき市では、地域特性を生かした様々なクリーンエネルギーが供給され、最先端の有効利用技術を駆使してエネルギーを活用する社会を目指します。



次世代エネルギー社会の構築

【次世代エネルギー（水素）に対応した社会の構築】

- FCV・FCバス等の「利活用」を促進
- 再エネ・水素・蓄電の地産地消モデルを構築　等

成果：東北初！燃料電池バス　運行開始
～FCV約50台が市内を走行～

CENTER for Wind Energy 構想

【福島風力産業創出戦略】

- 風力メンテナンス産業を創出・育成し、市内企業の技術高度化・人財育成を図り、関連産業への参入促進・産業集積を目指す

成果：国内最大手の風力メンテナンス事業者の誘致を実現

いわきバッテリーバレー構想

【バッテリー産業の集積とバッテリー利活用の先進都市を実現】

- バッテリーを使用した製品の普及
- バッテリー技術による産業振興
- バッテリー関連企業の誘致

成果：人財が育ち 関連企業の集積が加速化

円滑な立地を強力にサポート

○大学、高等学校を合わせた就職希望者
約１，４００人（令和２年３月31日現在）

○**奨学金返還支援制度**により地域の産業を支える大卒人材の定着を促進

○いわき産学官ネットワーク協会による
伴走型の企業支援

充実したコンテナサービス

いわき市本社機能移転等事業者奨励金

いわきのここがすごい！

対象要件	交付額
県の地方活力向上地域等特定業務施設整備計画の認定を受けた事業者 （参考：認定要件） ・特定業務施設（本社機能）の整備（新増設、賃貸借、用途変更）が行われること。 ・増加　従業員が大企業５人以上、中小企業２人以上であること。	従業員１人につき **600万円** (200万円/年×3年)

田村市

市長　本田 仁一

田村市

あぶくまの人・郷・夢を育むまち
～はつらつ高原都市～

TAMURA-CITY

★ 2005（平成17）年3月に滝根町・大越町・都路村・常葉町・船引町の5町村が合併し、田村市誕生。
★ 人口：35,351人、世帯数：12,893世帯（令和2年9月1日現在）
★ 市の面積：458.33平方キロメートル

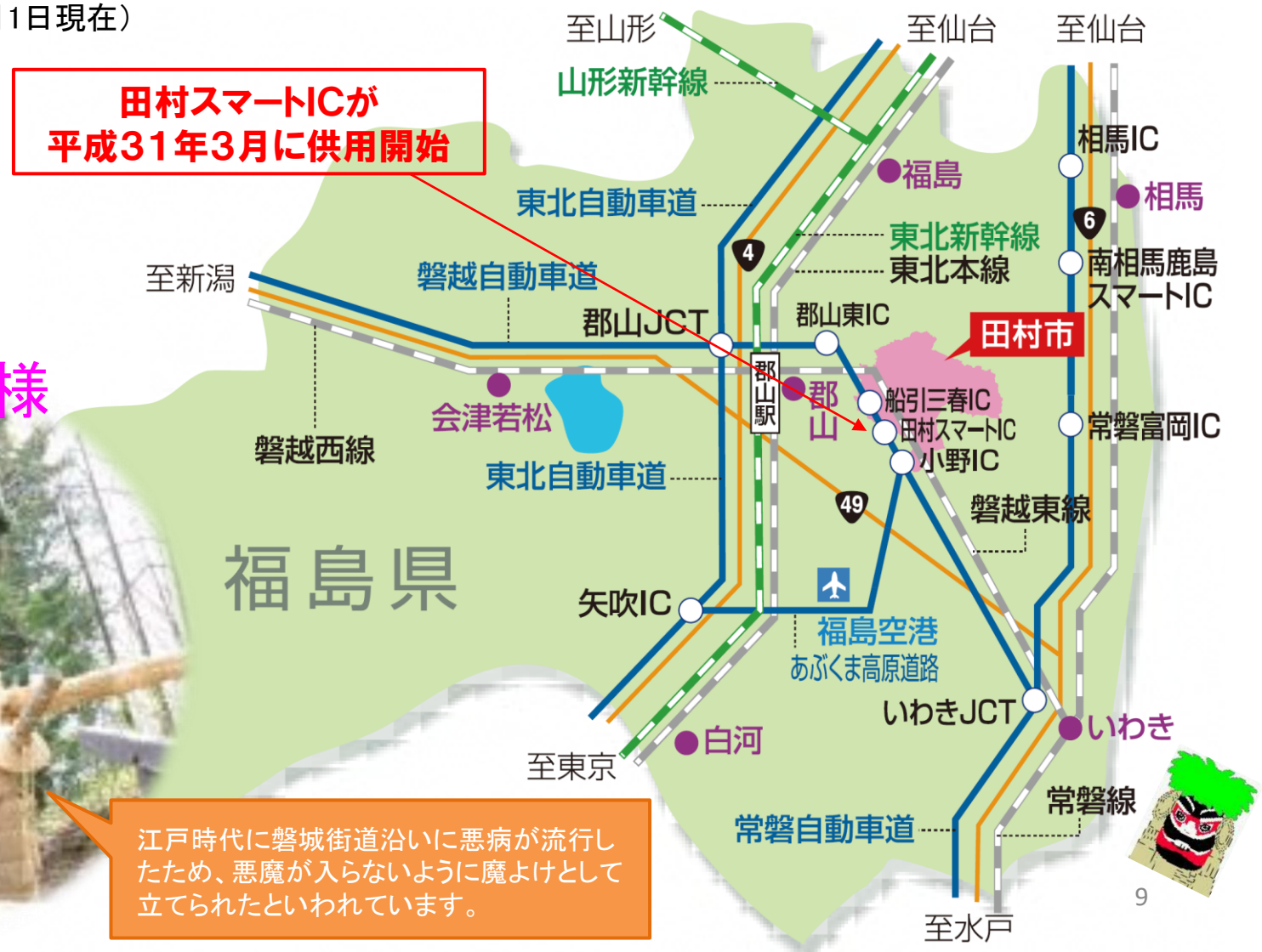
東京からの所要時間

■JR（東北新幹線⇒磐越東線）で最短**約2時間**
■福島空港から田村市まで（自動車） **約1時間（約40km）**
■東京から車／高速道路で**3時間30分**
※東北道・常磐道どちらへも好アクセス

田村スマートICが
平成31年3月に供用開始

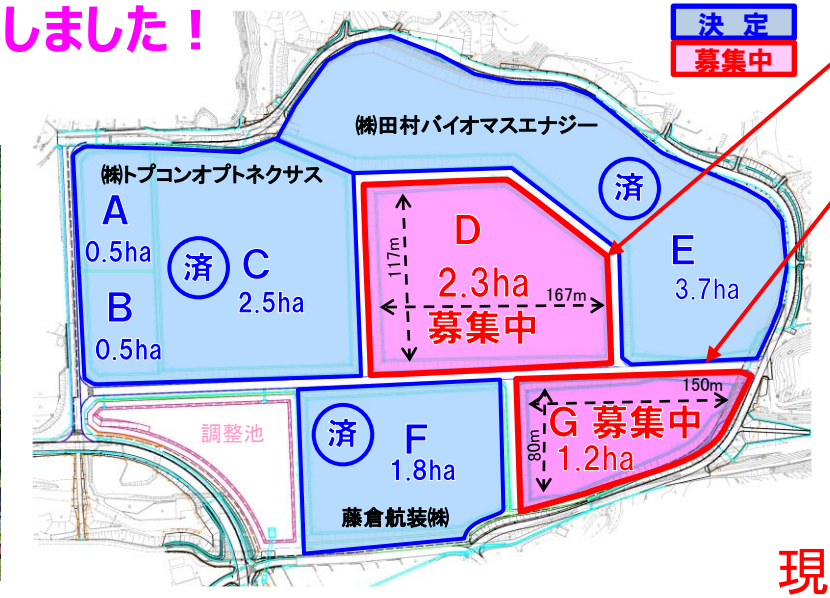
魔除けの神様 お人形様

江戸時代に磐城街道沿いに悪病が流行したため、悪魔が入らないように魔よけとして立てられたといわれています。



田村市産業団地 →令和元年５月に完成しました！

● 賃料 ： 年額84円／㎡（H30～R2年度）



D区画賃料(年額)
2．3haで約200万円

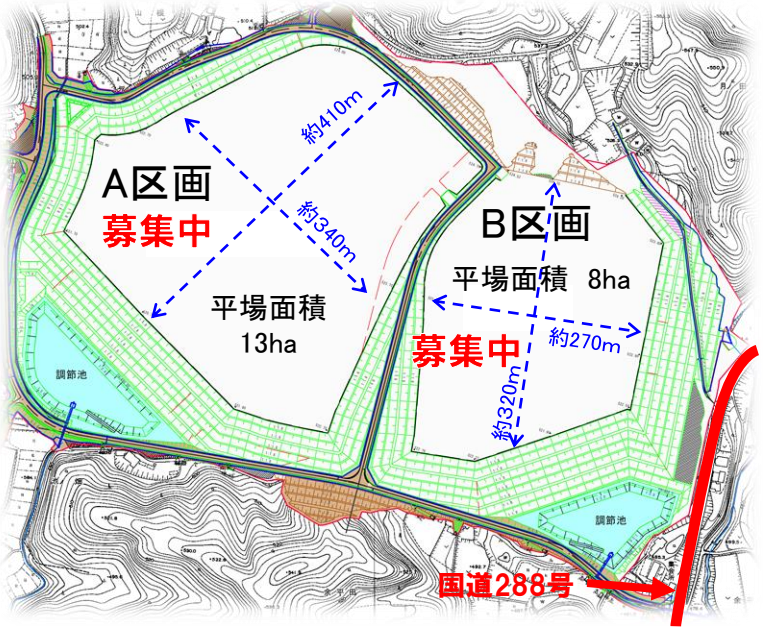
G区画賃料(年額)
1．2haで約100万円

■田村スマートICまで約5km

■JR磐越東線 大越駅まで約1.3km

現地ご案内いたします

大規模用地をお探しの企業様は・・・ （仮称）田村市東部産業団地



■平場面積　A区画：13ha
　　B区画：　8ha

■令和4年4月完成見込

■ 低価格で賃貸予定

■ アクセス

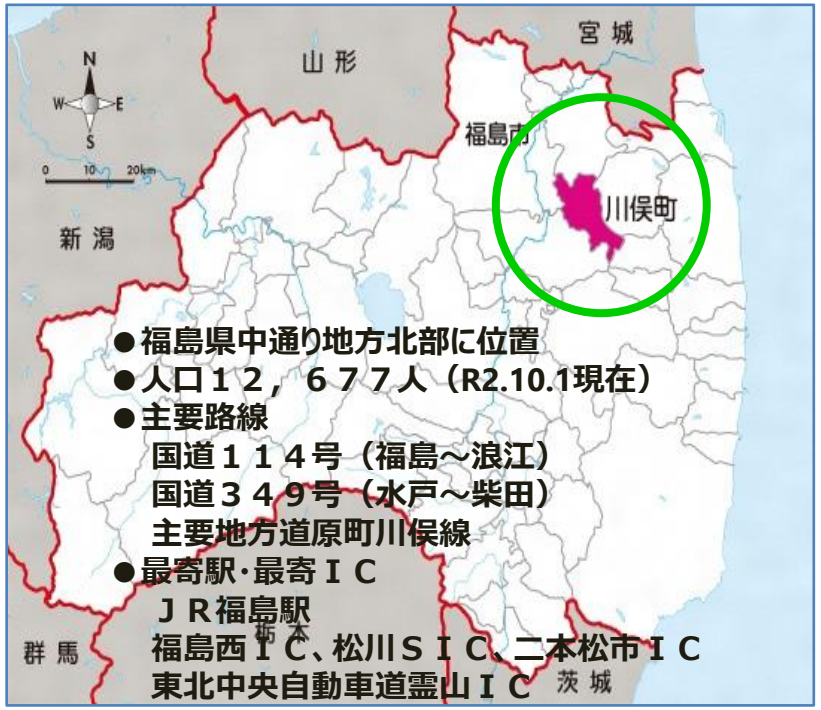
【高速道路】磐越道船引三春IC及び田村スマートICどちらも約15km
【空　　港】福島空港まで約45km
【港　　湾】小名浜港まで約80km
【鉄　　道】JR磐越東線船引駅まで約11km

川俣町

町長　佐藤 金正

福島県川俣町

2020/11/24
企業立地セミナー



■気候
川俣町は内陸性気候に属し、一年を通じて四季を感じることができます。春と秋は降水量が少なく温和な日が多くあり、冬も降雪は比較的少なく、過ごしやすい気候です。
○平均気温：12.2℃
○平均湿度：65.3%
○平均雨量：990.0mm/年

★古関裕而

★川俣シルク　★川俣シャモ　★かわまたの花

絹織物工場

スカーフ・シュシュ

シャモ丸焼き

トルコキキョウ

アンスリウム

川俣町の工業団地

立地企業募集中！

●アサヒ通信株式会社（中山工業団地）

H11～、電気機械器具製造業、地域復興実用化開発事業（ロボット分野）

●ベルグ福島株式会社（羽田産業団地）

H27～、農業サービス業、種苗の生産、仕入れ、販売

●ミツフジ株式会社（西部工業団地）

H30～、繊維工業、地域復興実用化開発事業（医学分野）、ウェアラブルIoT製品の開発・製造

【その他の主な事業所】
日ピス福島製造所（輸送用機械）、川俣精機（電気機械）、ＮＯＫメタル（輸送用機械）、ｸﾞﾘﾑ･ｴﾅｼﾞｰ（プラスチック製品）、グリム・エレクトロニクス（電子・医療他）、笠原鋳物（輸送用機械）

双葉町

町長　伊澤 史朗

双葉町 中野地区復興産業拠点のご紹介

浅野撚糸

【SUPER ZEROに込めた思い】ロゴマーク「スーパーZERO」は2011年3月15日、あの東日本大震災の4日後に中国上海の展示会場にて生まれました。

その展示会場では日本の原子力発電所大破による放射性物質放出で、日本が危機的状態である旨の情報が蔓延していた。「日本の陽は必ずまた昇る」そんな思いを込め、浅野雅己は日の丸を右に傾けました。

そしてマイナスからのスタートの当時の浅野撚糸と重なり、「0を超えてプラスへ」。SUPER ZEROの文字を日の丸に打ち込み、まさにこれから陽が昇らんとする様を力強く表現しました。

これからの双葉町に、どうしたら大勢の方に来ていただけるかを考え、操業に向け準備を進めています。

主な事業：撚糸製造・タオル販売
代表的商品：エアーかおる、アンツ、オドアス、
ダキシメテフタバ、エアーかおる本丸

双葉町 中野地区復興産業拠点のご紹介

アルムシステム

Futaba Town 双葉町

アルムシステムは介護・不動産賃貸・ビジネスホテル・太陽光発電などの事業を進めている企業であり、中野地区にビジネスホテルを建設予定です。

まさにこれから復興が進んでいく双葉町に可能性を感じ、中野地区復興拠点への立地を決めました。

私の座右の銘“カエルの子はカエルにあらず“です。カエルの子はカエルといわれますが、双葉町を被災前の状況に戻すのではなくより魅力的なまちになっていくように、サービス業として町全体の賑わいづくりのお手伝いをしていきたいと考えています。

主な事業：介護サービス、不動産賃貸業、ビジネスホテル、太陽光発電事業等

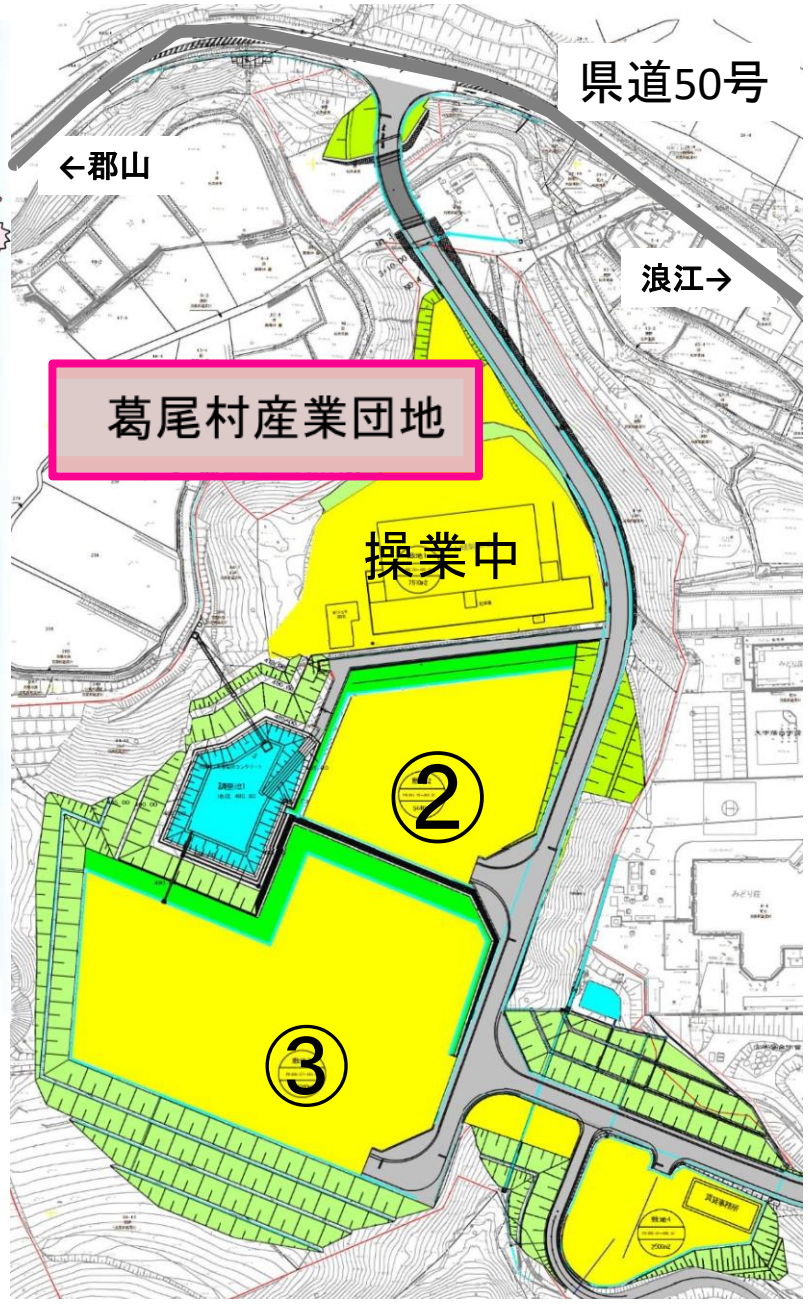
図：中野地区建設予定のビジネスホテルパース

葛尾村

副村長　松本 弘

葛尾村の産業団地（湯ノ平）

アクセス
磐越道　船引三春ICから30分
常磐道　浪江ICから35分



敷地面積・賃料
面積　②5,440㎡　③12,940㎡
賃貸価格　54円/㎡/年

葛尾村産業団地のメリット

1. 福島県内一安い借地料　５４円/㎡/年
（敷地面積　②5,440㎡　③12,940㎡）
敷地②　約30万円/年＝5,440㎡×54円/㎡/年
敷地③　約７０万円/年＝12,940㎡×54円/㎡/年

2. 村内太陽光発電利用による環境に配慮した
経営　【RE50】を実現できる

3. 手厚い子育て、移住・定住支援
子ども一人あたり、1ヵ月2万円支給（児童手当に加算）
出産祝金として一人あたり10～30万円
結婚祝金10万円、新築等祝金最大200万円等

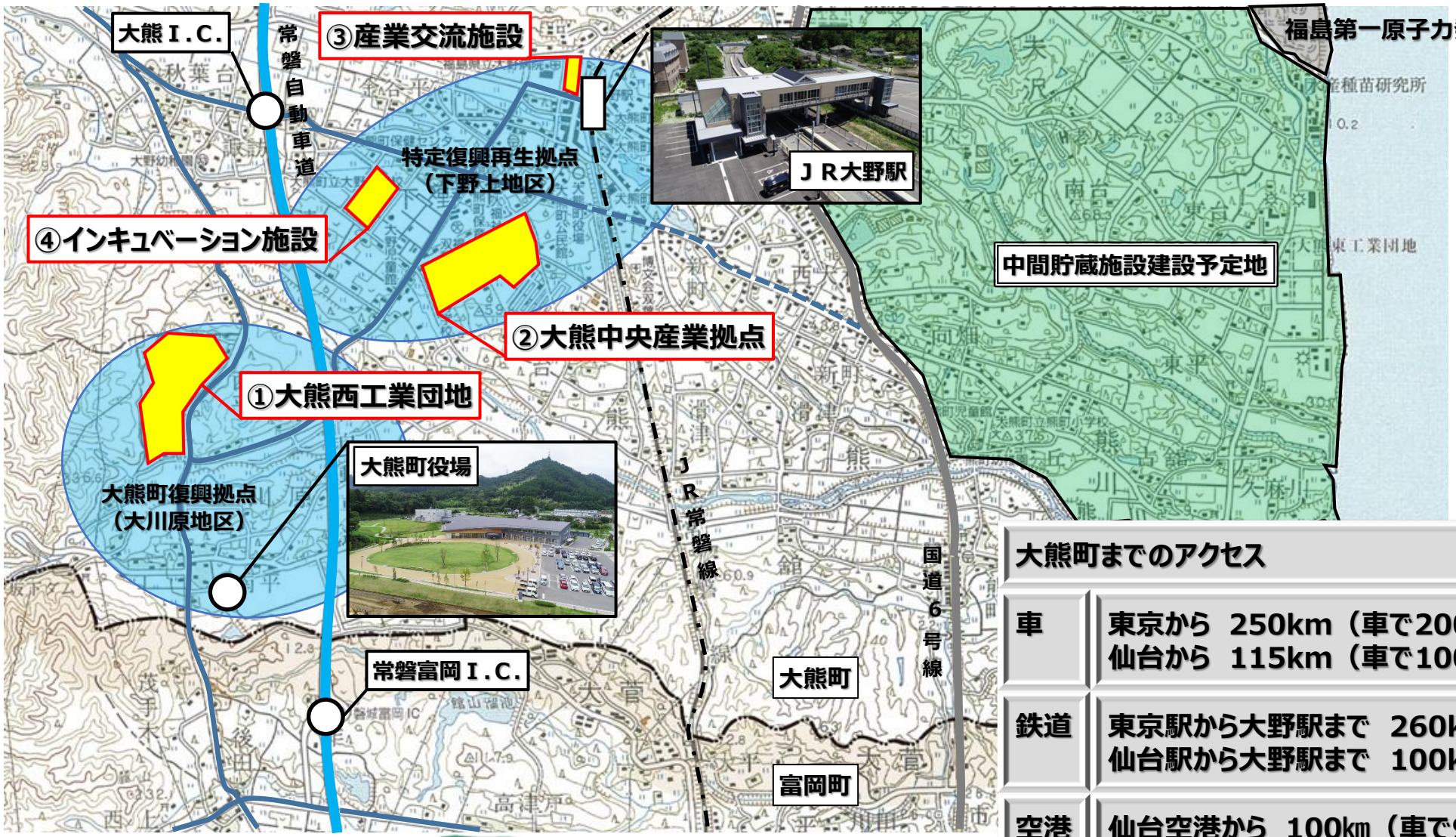
大熊町

町長　吉田 淳

大熊町で整備予定の工業団地／産業拠点の位置図

大熊町 OKUMA TOWN

創 巡 贈
るるる
おおくま。



大熊町までのアクセス	
車	東京から　250km（車で200分） 仙台から　115km（車で100分）
鉄道	東京駅から大野駅まで　260km（200分） 仙台駅から大野駅まで　100km（130分）
空港	仙台空港から　100㎞（車で90分）

大熊町で整備予定の工業団地／産業拠点のラインナップ

大熊町 OKUMA TOWN

創 巡 贈
るるる
おおくま。

名　　称	**①大熊西工業団地**	**②大熊中央産業拠点**	**③産業交流施設（大野駅西）**	**④インキュベーション施設**
規　　模	• 敷地面積/約4ha＋α【最大】 • 3～7区画程度の用地を確保	• 敷地面積/約9ha【最大】 • 20～30社程度の用地を確保	• 床面積/4,600㎡程度 • 8～10社程度の貸事務所（1室あたり100㎡～）を整備	• 床面積/2,000㎡程度 • 貸オフィス6室程度のほか、シェアオフィスやコワーキングスペースを整備
コンセプト	• 大熊町の原風景を活かした憩いの場としての機能も付加し、帰還住民・新住民の移住・定住のための就労地/雇用創出の場としつつ、高機能インフラを導入した工業団地として整備 • 働き手のヘルスケアに寄与しつつ、経済と環境が両立するSDGs型団地	• 除染/廃炉関連技術の研究開発や次世代技術・産業を育む企業群を集積する職住近接型の産業拠点として整備 • 高度技術・産業の導入やオープンファクトリーなどの体験型産業集積拠点	• 駅前立地や中間貯蔵施設に近接という立地特性を活かしつつも、大熊町の玄関口として街の賑わい創出や情報発信などの機能も付加した公的施設として整備 • 住民向けサービスや産業を担う各種施設等も併設した超利便的施設	• 近隣立地企業との親和性のある高度技術や産業シーズのほか、学術的見識を用いたシナジー効果を狙ったインキュベーション機能を整備 • 新サービスによる地域課題解決型ビジネスや最先端産業の創出拠点のほか、異業種交流による賑わい創出ベース
ユーティリティ	電気（特別高圧）/工業用水/上水/一般通信	電気（高圧）/上下水/高速通信	電気（高圧）/上下水/高速通信	電気（高圧）/上下水/高速通信 （ローカル5Ｇ検討）
整備予定時期	2023年4月頃供用開始予定 （2022年4月頃一部供用開始予定）	2024年春頃供用開始予定 （2023年3月頃一部先行供用開始予定）	2024年春頃開業予定	2022年9月頃入居開始予定

相馬市

商工観光課長　川崎 陽一

相　馬　市

アクセス

「天女（まごころ）像」（部分）

佐藤玄々（彫刻家）

・1888-1963（本名・清蔵）
・相馬郡中村町（現相馬市）出身の彫刻家。
　18歳で上京。
・代表作： 日本橋三越本店「天女（まごころ）像」、皇居敷地内「和気清麻呂像」

相馬中核工業団地（東地区・499ha）

お一人5,000円の宿泊費を助成しています

相馬市 City of Soma

令和3年2月28日の宿泊分まで利用できます。（一日3,000名まで宿泊可）

	第１コース（冬）	第２コース（春）	第３コース（夏）
見る	海苔棚が映える松川浦	相馬中村城跡の桜吹雪	相馬野馬追（総大将出陣）
食べる	旬の魚介類を使った海鮮料理	春の味覚・いちご狩り	レトロな海の家で食事（海水浴場）
遊ぶ	9コース・81ホールのパークゴルフ場	天然芝3面、人工芝2面を備えたサッカー場	天然芝球場4面を備えたソフトボール場

南相馬市

経済部　理事　笹野 賢一

南相馬市 ～最高の事業環境を提供し、皆様のチャレンジを最大限後押し！～

① 世界に類を見ない実験場

・福島ロボットテストフィールド
（R2.3 全面開所）

② サービス充実の活動拠点

・産業創造センター
（R2.9 全面開所）

・復興工業団地
（R1.8 造成完了）

③ 皆様との最前線拠点

・南相馬市東京支所
（R2.7 本格稼働開始）

既に、多くの大企業・大学・ベンチャー企業等が進出し、ドローンなどのロボット関連事業を展開中。

MELTIN
WorldLink & Company
会津大学 THE UNIVERSITY OF AIZU
FUJI COMPUTER
NICHE 東北大学未来科学技術共同研究センター
TAJIMA
Revolutionary Drones for Professionals PRODRONE®
FPV ROBOTICS INC.
TERRA LABO
DENSO Crafting the Core
tetra
SKYDRIVE
ACSL
Rakuten
GINZAFARM
株式会社 人機一体 Man-Machine Synergy Effectors, Inc.
International Rescue System
UNIRITA
ROBOTCOM & FA.COM
SHINMEI
F-Design
MPAT
IRIS OHYAMA
Fukushima Emergency Response Training Institute
Robo-DEX Design for Robotics future
セツロテック Setsuro Tech.
ALSOK
ASTOM R&D
SPACE ENTERTAINMENT LABORATORY
AIZAWA
Living Robot

支援制度にとどまらない徹底的な伴走支援

充実した支援制度

○試作品開発の補助
（補助率3/4、補助上限額600万円）

○ロボット実証の補助
（補助率3/4、補助上限額90万円）

○販路拡大の補助　　等
（補助率3/4、補助上限額100万円）

飲食店等（2020年4月現在）

573

65 内、原ノ町駅周辺

ホテル/宿泊施設

コンベンションや出張による地域外からの研究者等来訪にも対応。

17 施設

1,062 部屋数

賃貸住宅等の確保支援

宅建協会と協定を締結（R2.8）。
優良な民間賃貸物件を紹介。

福島県宅建協会 ←協定／協力要請等→ 南相馬市

楢葉町

新産業創造室長　猪狩 秀則

＜復興・創生のあゆみ＞

【2011年3月】
東日本大震災及び原子力災害により全町民約8,000人が避難し、町内居住者は0人となる。
【2015年9月】
避難指示が解除され、現在は約4,000人が居住。
【2018年6月】
商業・交流施設や災害公営住宅、こども園などを集約したコンパクトタウン内に「ここなら笑店街」をオープンし、現来店者数は130万人を数える。
【2019年4月】
スポーツ・文化交流拠点「ならはスカイアリーナ」をオープンし、交流人口拡大に向けた取組みを活性化。

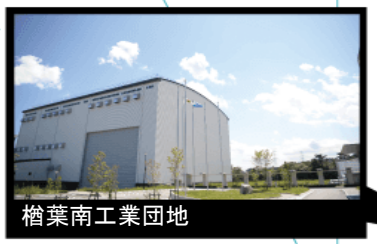
Access

常磐線 木戸駅及び竜田駅で下車

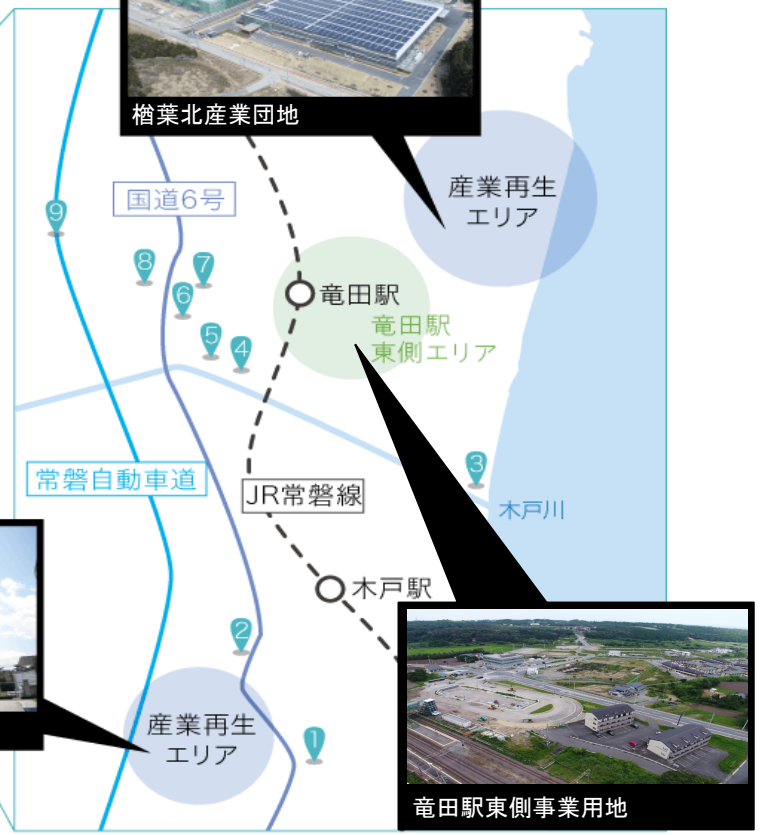
国道6号線、常磐自動車道、
ならはスマートICが近く、交通アクセスが良好です。

東京方面 車で約3時間　　仙台方面 車で約2時間

楢葉北産業団地


楢葉南工業団地

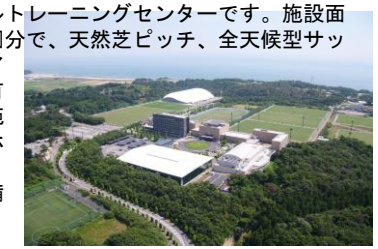
竜田駅東側事業用地



1. Jヴィレッジ　2. 道の駅ならは
3. 天神岬スポーツ公園／しおかぜ荘　4. あおぞらこども園
5. ならはCANvas／ここなら笑店街　6. 楢葉町役場
7. 楢葉小・中学校　8. ならはスカイアリーナ　9. ならはスマートIC

Jヴィレッジ　MAP 1

サッカーのナショナルトレーニングセンターです。施設面積は東京ドーム約10個分で、天然芝ピッチ、全天候型サッカー練習場、ジム、アリーナ、プール等を有しています。また、施設にはレストランやホテル（客室数200）、ホール・会議室等も備えています。



ここなら笑店街　MAP 5

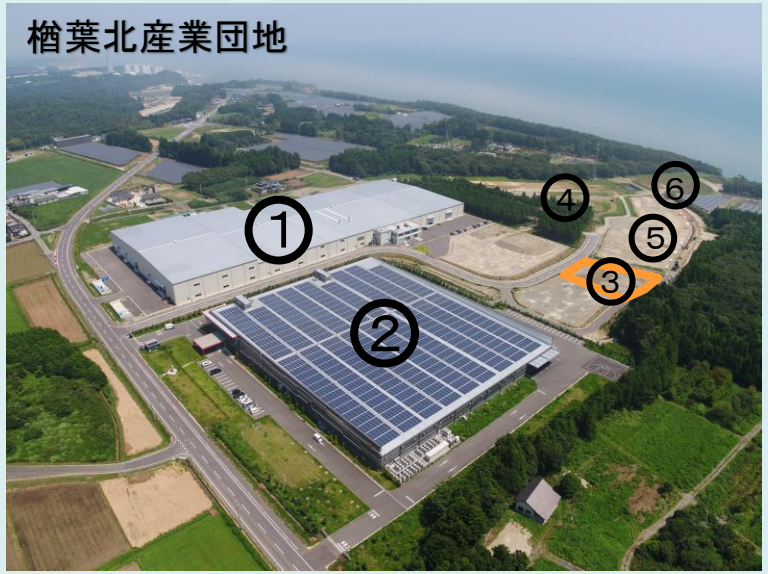
複合商業施設で、スーパー、ホームセンター、飲食店（ラーメン、定食、カフェ、焼肉居酒屋等）、クリーニング店、理容室、パン屋、コインランドリーがあります。

ならはスカイアリーナ　MAP 8

スポーツ・文化交流拠点で、アリーナ、フィットネスルーム、キッズルーム、プールのほか、会議室も利用可能です。企業様向けのお得な法人会員料金も設定しています。

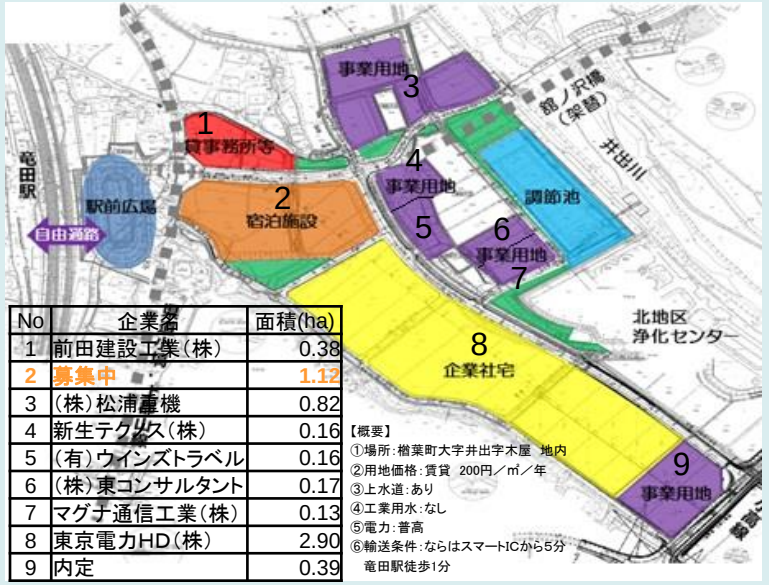
楢葉町 新規造成区画 ～ 企業、つなぐ、ならは、明日へ ～

楢葉北産業団地



No	企業名	面積(ha)
①	(株)アンフィニ	3.31
②	エヌビーエス(株)	5.53
③	募集中	0.24
④	商談中(造成中)	1.90
⑤	商談中(造成中)	1.11
⑥	商談中(造成中)	0.42

竜田駅東側事業用地



No	企業名	面積(ha)
1	前田建設工業(株)	0.38
2	募集中	1.12
3	(株)松浦産機	0.82
4	新生テクノス(株)	0.16
5	(有)ウインズトラベル	0.16
6	(株)東コンサルタント	0.17
7	マグナ通信工業(株)	0.13
8	東京電力HD(株)	2.90
9	内定	0.39

＜町の取組み＞

１　相互協力協定等の締結により、税制優遇制度や補助制度、労働力確保など様々な支援を行います。

２　国家プロジェクトであるイノベーション・コースト構想や廃炉産業参入に向けた制度設計や支援策を推進します。

３　復興イベントやまちづくり会議等への参画を通じて、企業のＰＲ事業を展開します。

４　町内企業をつなぐための組織・仕組み等の構築を図っており、違和感なく地元になじみ操業していただけます。

５　上記内容の他にも、企業の経営理念や戦略などと照らし、町として出来得ることについては、鋭意対応させていただきますので、当町への進出に向け、是非とも前向きなご検討をお願いします。

富岡町

企画課長　原田 徳仁

福島県　富岡町

人が生き　町が活き　未来がいきる

富岡産業団地
2021年春　全面供用開始！

国内最大級の
立地支援制度

低廉な
賃貸価格

良好な
交通アクセス

平坦で一体的な
土地利用可

物流を担う企業
団地内立地

富岡産業団地
の強みだっぴ。

浪江町

産業振興課長　清水 中

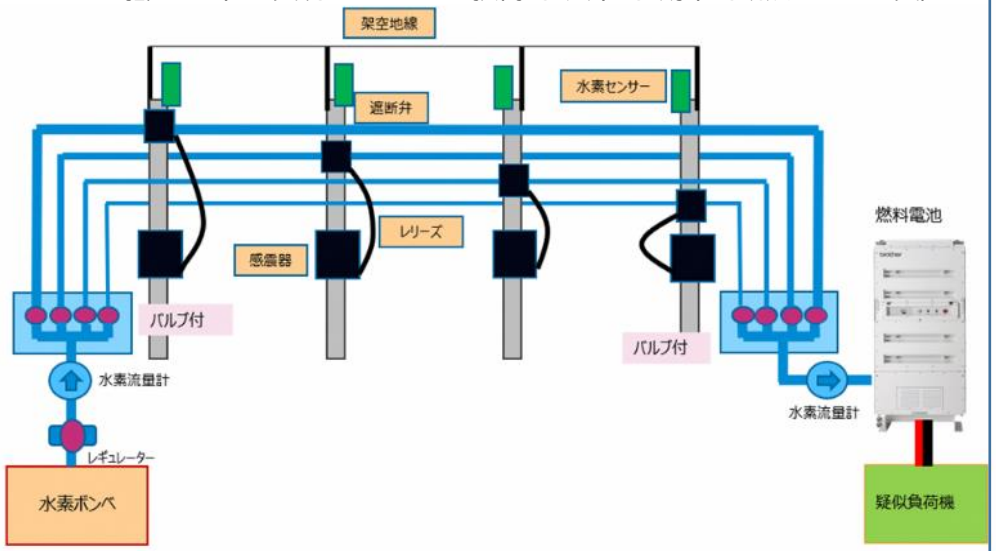
浪江町内における水素利活用の現状

□RE100団地構想

＜概要＞　再エネ電力供給に加え、FH2Rの水素も供給・活用

□水素柱上パイプライン供給実証事業

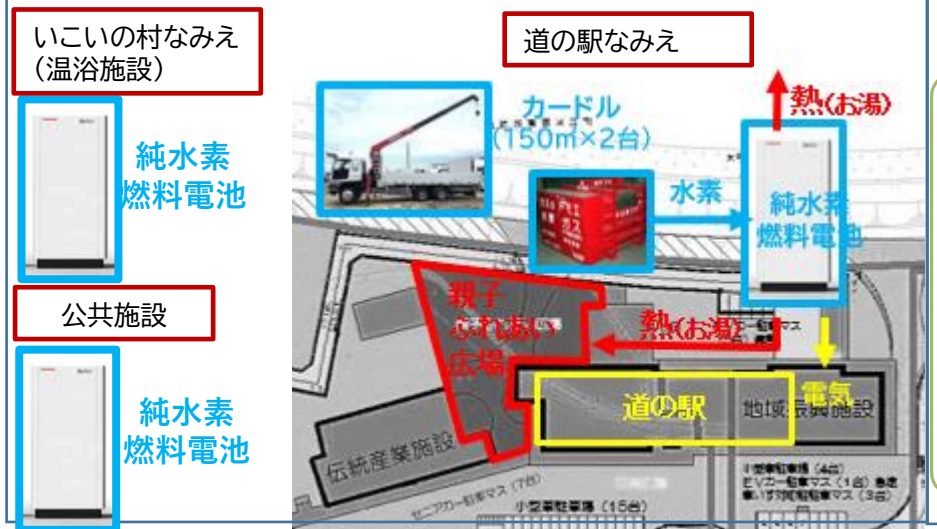
＜概要＞　水素輸送のためのパイプラインを電柱に共架させることにより、
抵コスト化を実現できないか、技術的・法令的・効率的観点からから実証



Hydrogen Town Namie　なみえ水素タウン構想

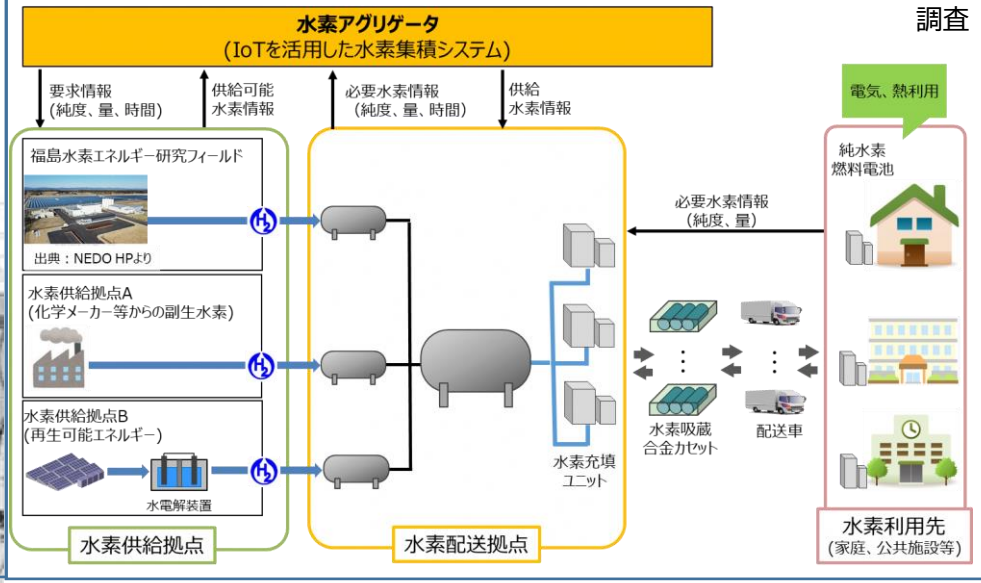
□「道の駅なみえ」・「公共施設」への純水素燃料電池導入

＜概要＞道の駅・公共施設に対して電及び熱（お湯）　の供給を行う



□生協による水素配送実証FS

＜概要＞　生協トラックによる水素吸蔵合金カセットの配送・供給事業実施の可能性調査



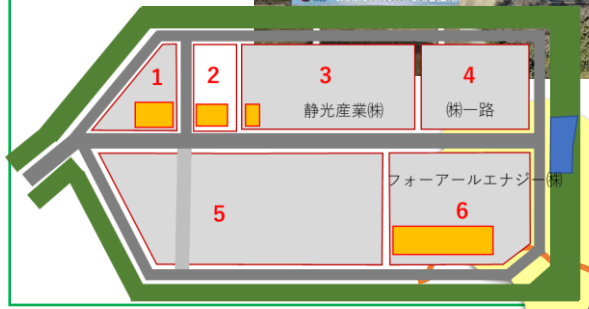
浪江町産業団地

イノベーションコースト構想とも融合するまちづくりを通して双葉郡全体の復興に寄与します。

浪江町藤橋産業団地

所在地：藤橋字出口地内

浪江日本ブレーキ㈱の跡地を産業団地として再整備し、平成29年工事完了。企業の操業が進んでおり、令和2年度も新たな企業の進出が計画されています。

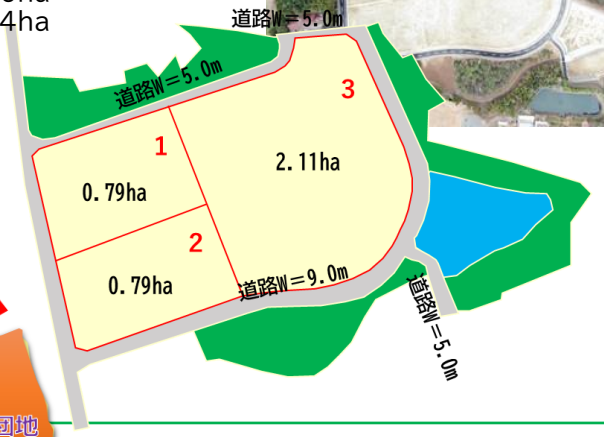


浪江町北産業団地

令和元年12月に供用開始、緑に囲まれ落ち着いた環境の産業団地

・所在地　　浪江町北幾世橋地内
・団地面積　　約6ha
・賃貸可能面積　約4ha

※「特例工業団地」が適用されており工場立地法に係る緑地の確保がされています。

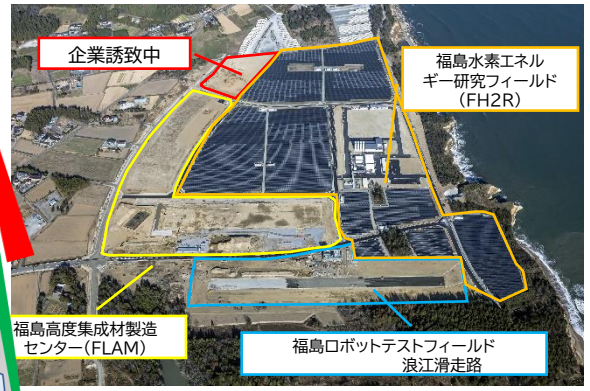


浪江町南産業団地

令和2年度から段階的に供用開始、国道6号に隣接する利便性の高い大規模産業団地

・所在地　浪江町請戸地内
・団地面積　　約45ha
・賃貸可能面積　約19ha

※「特例工業団地」
　申請予定



浪江町棚塩産業団地

2020年3月に供用開始、福島水素エネルギー研究フィールド、福島ロボットテストフィールド浪江滑走路、木材製品製造拠点が立地する産業団地。

・所在地：棚塩字大原地内
・団地面積　約47ha
・賃貸可能面積　約2ha